

挑戦する夏休みに ～「いのちは時間 第2章」～

明日は夏休み前の全校集会があります。子どもたちに話をする機会をいただいたので、次のような内容で話したいと思っています。

明日から夏休みになります。

副校長先生も子どもの頃は夏休みになるのがとても楽しみでした。学校が休みになるので友達とたくさん遊べたことも楽しかった理由の1つですが、時間がたくさんあるので、やりたいことを決めて挑戦できることが何より楽しみだったと思います。

友達とザリガニをとったり、カブトムシやクワガタムシを集めて育てたりすることに夢中でした。自分で初めてカブトムシの幼虫をとって、大きな箱に入れて、水をやり、幼虫がさなぎになって変わって行く様子を見たときは本当に驚きました。また、カマキリやバッタなどの昆虫も好きだったので草むらの中に入って友達よりも大きなカマキリが欲しくて遅くまで遊んでしまったことも覚えています。また、夏休みは夜の行事もあって「肝試し」と行って暗い道を歩いたことや花火をしたことも思い出になっています。学校のプールでもたくさん遊びました。泳ぐことはだれからも教えて貰わなかったのですが、たくさん遊んでいるうちに潜ったり泳いだりすることができたように思います。

さて、今日は一人の子の作文を紹介します。

【「文集いずみ」から】

頑張ったことがよく分かるように書けていますね。

さあ、みなさんも明日から夏休み、自分の時間がたくさんあります。折角の時間なので何か1つでも目標を決めて取り組んでみてください。そして、時々、心に残ったことを書いておくとそれはみんなの宝物になります。

最後にみなさんに1つお願いがあります。

5月の朝会で副校長先生は「いのちは自分の時間です」という話をしました。楽しい夏休みを過ごすためにも大切なことは自分のいのちを守ることです。

どうか8月21日には全員揃って元気に附属小に戻ってきてください。

これで副校長先生の話を終ります。

(本来であればここで話を終える予定でしたが、昨日お亡くなりになった日野原先生の話にもふれたいと思います。)

1年生には1年生の夏休み、6年生には6年生の夏休み、そして先生方には先生方の夏休みがあります。子どもたちが元気で楽しい夏休みを過ごすことを祈りつつ、先生方もリフレッシュして有意義な夏休みをお過ごしください。  
(文責：副校長 手代木)